



## 市政に対する

# 一般質問

ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。  
二次元バーコードを読み取ってご覧ください。  
※通信料がかかる場合があります。



すずき  
**鈴木 賢和**

よし かず  
議員



**マイナ保険証の普及と利用促進は**

**問** マイナ保険証の利用率向上への取組はどうか。

**答** 具体的な取組としては、広報ふくろい

や市ホームページにおいてマイナ保険証の登録などについて周知を行っている。また、保険証の一斉更新時をはじめ、加入者情報のお知らせ通知、75歳到達による後期高齢者医療制度への新規加入者に送付する保険証や資格確認書に、現行の保険証の新規発行の終了、登録方法をリーフレットに同封し、各世帯へ周知するなど、利用促進を図っている。マイナンバーを持っていない方には、市民課での取得申請の案内や、マイナンバーカードを取得していても、保険証として利用登録をしていない方には、市役所1階の特設ブースや浅羽支所で利用登録の手続支援を行っていることを案内している。

**ノーコードツールの活用は**

**問** 簡単な操作でアプリなどが素早く作成できるノーコードツールを導入し、業務に役立ててはどうか。

**答** 現時点では、ノーコードツールの導入は見送っている。業務効率化に向けた選択肢の一つとして、技術の進化や他自治体の成功事例を注視し、引き続き情報収集に努め、最適な活用方法を模索したい。



マイナンバーカードの保険証利用申し込みはお済みですか？

マイナンバーカードが保険証として利用できます

マイナ保険証のPR紙

**3D都市モデルデータの利活用は**

**問** 国土交通省が主導、提供する3D都市モデルデータを活用し災害情報やリスクを一元的に可視化し市民に周知するシステムを構築できないか。

**答** 先進自治体の実証実験の成果や活用状況などを注視し、本市の防災対策への活用について研究していきたい。

**問** 現在もさまざまな協定を結んでいる日本郵便との包括連携協定は袋井市にとって、メリットがあると考え、締結に向けて市としての考えは。

**答** 今後、新たな連携事業を具体的に推進する際には、包括連携協定の締結を検討していきたい。



おおた  
**太田 裕介**

ゆうすけ  
議員



**「ゾーン30プラス」の整備計画は**

**問** 「ゾーン30プラス」整備計画策定により国土交通省の支援や地域と交通課題の共有などメリットは多い。策定の考えは。

**答** 事故の発生状況や、危険度を確認した上で、物理的デバイスをプラスする整備計画策定の必要性を地域や警察などとともに検討したい。



堀越地内のゾーン30

**誰もが安心して通える居場所への取組**

**問** 通いの場やいきいきサロンなどの活動は、要支援の方への介護予防の受け皿としての機能を果たしている状況にあるか。

**答** 要支援者の心身の状態にあわせて、通いの場の活動に加え、介護サービス事業所における現行相当サービス、基準緩和サービス、短期集中サービスを組み合わせることで、介護予防の受け皿としての機能を発揮できると考えている。

**問** 多様な民間団体との連携や、地域包括支援センターの人員も含めた充実への取組をどのように行っていくのか。

**答** 専門職の支援などすみ分けの方向性をケアマネジャーと意見交換している。地域包括支援センターの人員も課題として捉え進めていきたい。



たけむら  
**竹村 真弓**

まゆみ  
議員



**いつでも利用できる子ども居場所への取組を市内の全コミュニティセンターに拡充できた**

**問** 居場所は、幸福度を上げ地域の助け合いの拠点に発展する。行政と地域が一つになって進めてほしいと思うがどうか。

**答** 地域に愛されるコミュニティセンターであってほしい。一人でも多くの方に使ってもらうことが望ましいと思うている。



高南コミュニティセンター子どもの居場所スペースの様子